

平成30年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

1 税収額・支出額

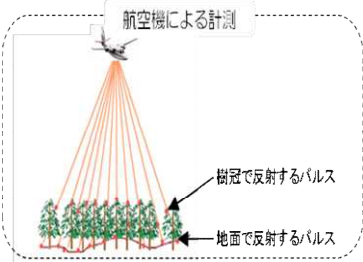
	当初計画	決算見込み
(1) 税収額	1, 7 3 8, 1 3 7 千円	1, 7 5 4, 2 1 8 千円
(2) 支出額 (税充当額)	2, 4 7 0, 9 6 5 千円	1, 9 4 9, 0 9 4 千円
森林の保全・整備 (うち前年度からの繰越額)	9 9 4, 7 7 0 千円 (1 7, 6 6 5 千円)	7 5 3, 7 2 1 千円 (1 4, 7 3 5 千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 4 7 6, 1 9 5 千円 (1 3 4, 1 4 2 千円)	1, 1 9 5, 3 7 3 千円 (1 3 4, 1 4 2 千円)

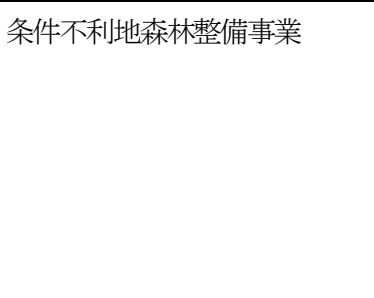
2 森林の保全・整備

(1) 平成30年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と 木材利用の推進		6 0 7, 5 0 7 千円 (17, 665千円)	4 6 7, 8 7 3 千円 (14, 735千円)
いばらきの森再生事業  間伐が実施されたスギ林と作業道	・持続的な森林管理を推進するため、意欲と能力のある林業経営体を実施する間伐や再造林等に対し補助 ・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助	間伐 8 0 0 ha 再造林 4 0 ha 4 2, 0 0 0 m 340, 830千円	間伐 6 4 9. 3ha *炭素吸収量 1, 169炭素ト/年 再造林 1 4. 5ha *炭素吸収量 29炭素ト/年 ※森林境界の画定が遅れたこと等により、計画よりも実績が下がった。 7 7, 7 5 0 m ※間伐対象森林の奥地化に伴い必要となる作業道延長が伸びたため、実績が計画を上回った。 286, 736千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
種苗生産体制整備事業 	・再造林の推進に伴い需要増が見込まれる苗木の安定供給を図るため、採種園の整備等を実施	採種園 0.3ha 4,100千円	採種園 0.3ha 3,706千円
森林施業効率化促進事業  高性能林業機械による作業	・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助	延べ 110か月分 13,360千円	延べ 58か月分 ※間伐等の事業量が減少したことに伴い、実績が下がった。 8,145千円
高精度森林情報基盤整備事業 	・人工林における航空レーザー測量による森林情報の整備を実施	1町 32,000千円	1町 (大子町7, 163ha) 30,979千円
いばらき木づかいチャレンジ事業  幼稚園の木造化・木質化	・公共施設等の木造化・木質化や新築木造住宅を支援 ・学校等への木製品導入に対し補助	木造化・木質化 8施設 新築木造住宅 10戸 木製品導入 10施設 139,217千円 (17,665千円)	木造化・木質化 7施設 新築木造住宅 8戸 木製品導入 8施設 94,502千円 (14,735千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
県立学校ブロック塀緊急安全対策事業  ブロック塀の木質化	平成30年6月に発生した大阪府での地震によるブロック塀倒壊事故を踏まえ、県立学校のブロック塀を撤去し、県産木材の有効利用のため、正門脇等に木塀を設置	学校数 7校 78,000千円	学校数 6校 43,805千円
② 県土・生活環境の保全		320,620千円	237,832千円
条件不利地森林整備事業 	地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助	10ha 8,220千円	なし ※森林境界の画定が遅れたこと等により、実績がなかった。 0千円
海岸防災林機能強化事業  松くい虫予防の薬剤散布	海岸防災林の機能強化を図るため、広葉樹の植栽や松くい虫予防のための薬剤散布を実施	植栽 18.0ha 薬剤散布 411ha 160,000千円	植栽 16.1ha 薬剤散布 420ha 131,668千円
身近なみどり整備推進事業  見通しがよかった平地林	地域にとって良好な生活環境や、やすらぎの場をつくるため平地林・里山林の整備に対し補助	100ha 152,400千円	86.2ha ※炭素吸収量 60炭素ト/年 ※森林所有者との調整未了などにより実施箇所・面積が減少したため、計画よりも実績が下がった。 106,164千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		66,643千円	48,016千円
森林・林業体験学習促進事業  体験学習の様子	森林づくりに関わる様々な体験メニューを提示し、森林・林業の体験学習を実施	12,500人 49,490千円	10,733人 32,531千円
いばらきの森普及啓発事業  PRキャラバン	森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施	パンフレット作成 15,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載	パンフレット作成 15,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 （平成30年7月）
 森林ボランティアの活動	- 市町村が行う森林湖沼環境税や森林・林業の普及啓発活動に対し補助 - 地域の森林づくりなどの活動を促進するため、NPO団体などに対し補助	5市町村 20団体 14,153千円	5市 20団体 13,720千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施	ロープ柵設置 135m 林床ササ刈り 750㎡ 3,000千円	ロープ柵設置 76.3m 林床ササ刈り 1,035㎡ 1,765千円

【平成30年度の事業実施による効果】

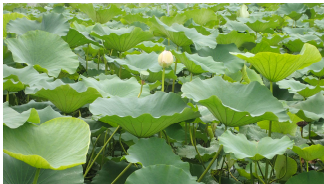
- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積〔2037年：30,000ha〕
平成29年度末：2,300ha → 平成30年度末：6,625ha〔4,325ha増〕
- 2 森林整備（間伐 649ha, 再造林15ha, 平地林等の整備86ha）による効果
 - （1）森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約12億円に相当
① 水源涵養 約3億3千万円 ② 土砂流出等防止 約4億4千万円 ③ 二酸化炭素吸収 約3億8千万円
〔※炭素吸収量(H30) 1,256炭素トン〕
 - （2）森林整備に係る費用対効果は、約3倍（効果：12億円／費用：4億円）

3 湖沼・河川の水質保全

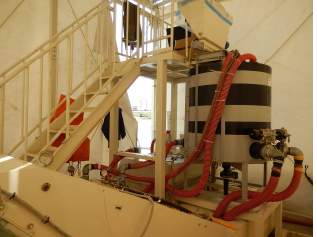
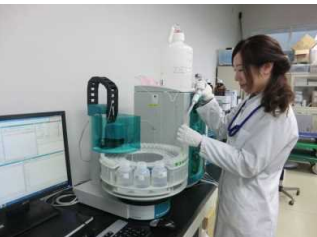
(1) 平成 30 年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		708,125千円	558,253千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	- 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乗せ補助 - 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、単独処理浄化槽の撤去費用を補助	設置補助 1,531基 485,993千円	設置補助 1,276基 372,260千円 *年間負荷削減量 COD：約29.6ト 全窒素：約4.7ト 全りん：約0.43ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事 農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設	- 下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助 - 農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 2,035件 147,960千円 農業集落排水施設 265件 16,925千円	下水道 942件 118,105千円 農業集落排水施設 121件 18,389千円 *年間負荷削減量 COD：約18.2ト 全窒素：約7.3ト 全りん：約0.79ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 1,100事業所 46,622千円	立入検査 1,212事業所 38,927千円 *年間負荷削減量 COD：約15.0ト 全窒素：約12.8ト 全りん：約1.96ト
排水処理施設りん除去支援事業  排水処理施設	農業集落排水施設の排水から更にりんを除去するため、薬剤の追加添加等にかかる費用を市町村に補助	対象施設 35施設 10,625千円	実施施設 35施設 10,572千円 *年間負荷削減量 全りん：約0.75ト

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		86,482千円	59,952千円
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培技術推進事業  レンコン田	- 霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及 - 畑地における適正施肥栽培の実証ほ設置、負荷低減技術の普及等	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 23,426千円	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 18,986千円
良質堆肥広域流通促進事業  良質堆肥の散布	・畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組等に対して支援	流域外における堆肥施用面積 60ha 14,856千円	流域外における堆肥施用面積 60ha 12,502千円 ＊年間負荷削減量 全窒素：約17.7トﾝ
家畜排せつ物農外利用等促進事業  炭化灰化処理装置	・畜産農家における炭化灰化処理装置や蒸発散施設の整備への補助	整備箇所数 3か所 38,200千円	整備箇所数 2か所 18,471千円
水田水質保全対策モデル事業  管理の高度化による農業用水の節水 （自動給水栓の設置）	・流域水田における土地改良施設を活用した循環かんがいや管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組に対する支援	取組地区数 1地区 10,000千円	取組地区数 1地区 9,993千円 ＊年間負荷削減量 令和元年から負荷削減量の測定を開始する

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		258,601千円	215,528千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	・子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施	参加者数 9,600人 回数 — 62,551千円	参加者数 9,585人 回数 310回 58,205千円
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	・市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 ・霞ヶ浦自然観察会等の環境学習，霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施	補助団体数 30団体 参加人数 延べ7,200人 20,584千円	補助団体数 28団体 参加人数 延べ7,138人 16,632千円
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	・漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動に対して補助	支援団体数 7活動組織 2,000千円	支援団体数 7活動組織 1,924千円
世界湖沼会議開催事業  第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)	・第17回世界湖沼会議の開催	世界湖沼会議の開催 173,466千円	世界湖沼会議の開催 138,767千円
④ 水辺環境の保全		422,987千円 (134,142千円)	361,640千円 (134,142千円)
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	・未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収）	未利用魚回収量 370トン 16,003千円	未利用魚回収量 354トン 15,589千円 ＊年間負荷削減量 全窒素：約8.7トン 全りん：約2.38トン

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	・アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置、アオコ回収等 20,627千円	アオコ抑制装置の設置 15,551千円
千波湖アオコ対策事業  アオコ集積防止装置の設置	・アオコ集積防止装置の設置等による景観保全及び悪臭被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置 11,500千円	アオコ抑制装置の設置 11,340千円
霞ヶ浦直接浄化対策検証事業  直接浄化施設	・土浦港内に設置する湖水の直接浄化施設によるりん削減等の実証試験の実施	施設運転管理、検証 107,368千円	施設運転管理、検証 81,789千円
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  石田湖岸（閉鎖区の水質浄化）	・新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の設置等	施設運転管理 198,739千円 (134,142千円)	施設運転管理 175,266千円 (134,142千円)
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 68,750千円	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 62,105千円

【平成30年度の年間負荷削減量増加分合計】

COD：約62.8トン 全窒素：約51.2トン 全りん：約6.31トン
 →平均的な家庭約9,000世帯分の年間排出負荷量（COD）に相当

令和元年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

1 税収額・支出額

() は前年度繰越額を内書き

	当初計画	決算見込み
(1) 税収額	1, 7 5 6, 9 9 2千円	1, 7 6 1, 8 8 2千円
(2) 支出額 (税充当額)	2, 2 5 7, 4 4 8千円	1, 6 5 0, 4 8 8千円
森林の保全・整備	1, 0 6 6, 4 6 4千円 (1 0 8, 1 7 5千円)	7 4 4, 9 3 0千円 (1 0 2, 9 6 6千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 1 9 0, 9 8 4千円 (4, 5 9 8千円)	9 0 5, 5 5 8千円 (4, 5 9 0千円)

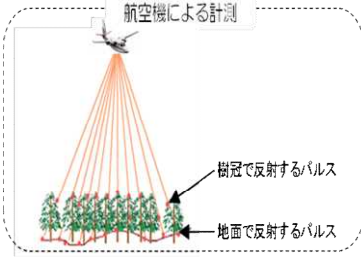
2 森林の保全・整備

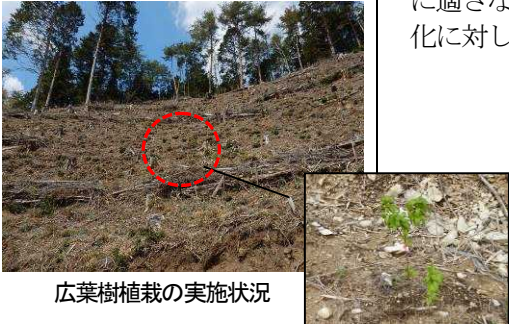
(1) 令和元年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と木材利用の推進		6 7 9, 6 0 7千円 (99, 955千円)	4 3 2, 0 3 0千円 (95, 811千円)
いばらきの森再生事業  間伐が実施されたスギ林と作業道	・持続的な森林管理を推進するため、意欲と能力のある林業経営体を実施する間伐や再造林等に対し補助	間伐 9 4 0 ha 再造林 7 6 ha	間伐 6 4 0. 7 ha *炭素吸収量 1, 153炭素ト/年 再造林 7 0. 1 ha *炭素吸収量 140炭素ト/年
 皆伐後の再造林	・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助	4 2, 0 0 0 m 417, 290千円 (50, 580千円)	5 5, 8 0 0 m 270, 996千円 (48, 692千円)

※ 隣接所有者との調整や境界の確定、及び台風19号の豪雨により、作業が遅延したため、計画よりも実績が下がった。

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
種苗生産体制整備事業  採種園の整備	・再造林の推進に伴い需要増が見込まれる苗木の安定供給を図るため、採種園を整備	採種園 0.69ha 3,422千円	採種園 0.69ha 2,960千円
森林施業効率化促進事業  高性能林業機械による作業	・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助	延べ 110か月分 8,775千円	延べ 53か月分 ※ 台風19号の豪雨により森林整備が遅延したことにより、計画よりも実績が下がった。 4,263千円
高精度森林情報基盤整備事業 	・人工林における航空レーザー測量による森林の調査を実施	5市 15,000ha 83,000千円	5市 19,761ha 52,123千円
いばらき木づかいチャレンジ事業  公共施設等の木造化・木質化	・公共施設等の木造化・木質化や新築木造住宅に対し補助 ・学校等への木製品導入に対し補助	木造化・木質化 8施設 新築木造住宅 10戸 木製品導入 10施設 154,777千円 (37,032千円)	木造化・木質化 8施設 新築木造住宅 10戸 木製品導入 9施設 91,601千円 (37,032千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
県立学校ブロック塀緊急安全対策事業  ブロック塀の木質化	平成30年6月に発生した大阪府での地震によるブロック塀倒壊事故を踏まえ、県立学校のブロック塀を撤去し、県産木材の有効利用のため、正門脇等に木塀を設置	学校数 1校 12,343千円 (12,343千円)	学校数 1校 10,087千円 (10,087千円)
② 県土・生活環境の保全		319,320千円 (8,220千円)	276,570千円 (7,155千円)
条件不利地森林整備事業  広葉樹植栽の実施状況	地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助	20ha 17,370千円 (8,220千円)	10.3ha 7,411千円 (7,155千円) ※ 隣接所有者との調整や境界の確定、及び台風19号の豪雨により、作業が遅延したため、計画よりも実績が下がった。
海岸防災林機能強化事業  海岸防災林での植栽	海岸防災林の機能強化を図るため、広葉樹の植栽や松くい虫予防のための薬剤散布を実施	植栽 18.0ha 薬剤散布 420ha 157,000千円	植栽 10.7ha 薬剤散布 420ha 155,459千円
身近なみどり整備推進事業  見通しがよくなった平地林	地域にとって良好な生活環境や、やすらぎの場をつくるため平地林・里山林の整備に対し補助	95ha 144,950千円	88.1ha *炭素吸収量 62炭素ト/年 113,700千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		67,537千円	36,330千円
森林・林業体験学習促進事業  間伐体験の様子	森林づくりに関わる様々な体験メニューを提示し、森林・林業の体験学習を実施	12,500人 49,490千円	10,325人 21,244千円
いばらきの森普及啓発事業  PRキャラバンの様子  森林ボランティア活動の様子	- 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施 - 市町村が行う森林湖沼環境税や森林・林業の普及啓発活動に対し補助 - 地域の森林づくりなどの活動を促進するため、NPO団体などに対し補助	パンフレット作成 10,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 PRキャラバン (県内5か所) 5市町村 20団体 14,153千円	パンフレット作成 10,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 (令和元年7月) PRキャラバン (県内5か所) 6市 20団体 13,073千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施	ロープ柵設置 135m 林床ササ刈り 750㎡ 3,894千円	ロープ柵設置 116.7m 林床ササ刈り 1,035㎡ 2,013千円

【令和元年度の事業実施による効果】

- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積〔2032年：30,000ha〕
平成30年度末：6,622ha → 令和元年度末：7,737ha〔1,115ha増〕
- 2 森林整備（間伐 641ha, 再造林70ha, 広葉樹植栽10ha, 平地林等の整備88ha）による効果
 - （1）森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約12億5千万円に相当
 - ① 水源涵養 約4億9千万円 ② 土砂流出等防止 約3億5千万円 ③二酸化炭素吸収 約4億1千万円
〔※炭素吸収量(R1) 1,374炭素トン〕
 - （2）森林整備に係る費用対効果は、約3.2倍（効果：12億5千万円／費用：3億9千万円）

3 湖沼・河川の水質保全

(1) 令和元年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		787,242千円	605,187千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	- 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乘せ補助 - 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用を補助	設置補助 1,385基 486,291千円	設置補助 1,210基 367,146千円 *年間負荷削減量 COD：約28.0ト 全窒素：約4.4ト 全りん：約0.40ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事	下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 2,100件 (高額補助：411件) (低額補助：1,689件) 167,960千円 農業集落排水施設 265件 41,260千円	下水道 845件 (高額補助：507件) (低額補助：338件) 154,984千円 農業集落排水施設 161件 24,977千円 *年間負荷削減量 COD：約17.2ト 全窒素：約6.9ト 全りん：約0.74ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設	農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助		*年間負荷削減量 COD：約17.2ト 全窒素：約6.9ト 全りん：約0.74ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 1,100件 81,125千円	立入検査 1,001件 47,517千円 *年間負荷削減量 COD：約10.6ト 全窒素：約9.0ト 全りん：約1.38ト
排水処理施設りん除去支援事業  排水処理施設	農業集落排水施設の排水から更にりんを除去するため、薬剤の追加添加等にかかる費用を市町村に補助	対象施設 36施設 10,606千円	実施施設 36施設 10,563千円 *年間負荷削減量 全りん：約0.80ト

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		107,027千円 (4,598千円)	52,991千円 (4,590千円)
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培推進事業  レンコン田	- 霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及 - 畑地における適正施肥栽培の実証ほ設置，負荷低減技術の普及等	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 23,473千円	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 18,511千円
良質堆肥広域流通促進事業  良質堆肥の散布	畜産系負荷削減のため，霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組に対して補助，たい肥の新たな活用及び販売ルートの開拓支援	堆肥利用実証ほの設置 60ha 14,856千円	堆肥利用実証ほの設置 65.6ha 13,559千円 ＊年間負荷削減量 全窒素：約15.3ト
家畜排せつ物農外利用等促進事業  炭化灰化処理装置	畜産農家における炭化灰化処理装置や蒸発散施設の整備への補助	整備箇所数 3か所 56,698千円 (4,598千円)	整備箇所数 1か所 8,927千円 (4,590千円)
水田水質保全対策モデル事業  水管理の高度化による農業用水の節水 (自動給水栓の設置)	流域水田における土地改良施設を活用した循環かんがいや水管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組みに対する支援	取組地区数 2地区 12,000千円	取組地区数 2地区 11,994千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		86,419千円	77,408千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	・子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施	参加者数 9,600人 回数 — 63,804千円	参加者数 9,425人 回数 306回 58,414千円
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	・市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 ・霞ヶ浦自然観察会等の環境学習，霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施	補助団体数 30団体 参加人数 延べ7,200人 20,615千円	補助団体数 27団体 参加人数 延べ6,528人 17,110千円
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	・漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動に対して補助	支援団体数 7活動組織 2,000千円	支援団体数 7活動組織 1,884千円
④ 水辺環境の保全		210,296千円	169,972千円
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	・未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収）	未利用魚回収量 370トン 14,850千円	未利用魚回収量 292トン 12,433千円 *年間負荷削減量 全窒素：約7.2トン 全りん：約2.03トン
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	・アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置，アオコ回収等 19,765千円	アオコ抑制装置の設置 13,829千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
千波湖アオコ対策事業  アオコ集積防止装置の設置	・アオコ集積防止装置の設置等による景観保全及び悪臭被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置 11,500千円	アオコ抑制装置の設置 10,161千円
霞ヶ浦直接浄化対策検証事業  直接浄化施設	・土浦港内に設置する湖水の直接浄化施設によるりん削減等の実証試験の実施（令和元年度で終了）	施設運転管理，検証 46,200千円	施設運転管理，検証，撤去 27,940千円
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  石田湖岸（閉鎖区の水質浄化）	・新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の設置等	施設運転管理 49,232千円	施設運転管理 46,478千円
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 68,749千円	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 59,131千円

【令和元年度の年間負荷削減量増加分合計】

COD：約55.8トン 全窒素：約42.8トン 全りん：約5.35トン
→平均的な家庭約8,000世帯分の年間排出負荷量（COD）に相当

令和２年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

１ 税収額・支出額

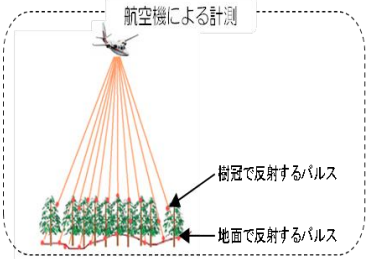
() は前年度繰越額を内書き

	当初計画	決算見込み
(1) 税収額	1, 7 5 9, 0 5 3 千円	1, 7 6 4, 2 8 3 千円
(2) 支出額 (税充当額)	2, 3 4 0, 7 2 6 千円	1, 8 8 6, 0 3 5 千円
森林の保全・整備	1, 1 5 8, 4 5 2 千円 (1 7 1, 3 4 5 千円)	9 1 4, 8 1 9 千円 (1 6 9, 9 1 5 千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 1 8 2, 2 7 4 千円 (1 5, 9 5 0 千円)	9 7 1, 2 1 6 千円 (1 5, 9 5 0 千円)

２ 森林の保全・整備 令和２年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と木材利用の推進		7 4 9, 5 9 6 千円 (165, 326千円)	5 7 8, 0 2 7 千円 (169, 100千円)
いばらきの森再生事業  間伐したスギ林と作業道	・持続的な森林管理を推進するため、経営規模の拡大に取り組む林業経営体が実施する間伐や再造林等に対し補助	間伐 1, 0 3 0 ha 再造林 9 3ha	間伐 8 0 3. 1ha *炭素吸収量 1, 446炭素ト/年 再造林 1 1 5ha *炭素吸収量 230炭素ト/年
 皆伐後の再造林	・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助	6 1, 0 0 0 m 477, 629千円 (125, 329千円)	8 1, 5 1 8 m 412, 120千円 (129, 368千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
種苗生産体制整備事業  採種園の整備	・再造林の推進に伴い需要増が見込まれる苗木の安定供給を図るため、採種園を整備	採種園 0. 1 6 ha 2, 120千円	採種園 0. 1 6 ha 1, 662千円
森林施業効率化促進事業  高性能林業機械による作業	・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助	延べ 1 1 0 か月分 8, 775千円	延べ 7 7 か月分 6, 448千円
高精度森林情報基盤整備事業  航空機による計測 樹冠で反射するパルス 地面で反射するパルス	・人工林における航空レーザー測量による森林の調査を実施	5 市町 2 8, 0 0 0 ha 129, 997 千円 (29, 997 千円)	5 市町 2 9, 4 9 2 ha 129, 569 千円 (29, 942 千円)
いばらき木づかいチャレンジ事業  公共施設等の木造化・木質化	・公共施設等の木造化・木質化や新築木造住宅に対し補助 ・学校等への木製品導入に対し補助	木造化・木質化 6 施設 新築木造住宅 1 0 戸 木製品導入 3 施設 131, 075千円 (10, 000 千円)	木造化・木質化 1 施設 ※ R3 への繰越：4 施設 新築木造住宅 1 0 戸 木製品導入 3 施設 28, 228千円 (9, 790 千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 県土・生活環境の保全		310,219千円 (6,019千円)	289,643千円 (815千円)
条件不利地森林整備事業  広葉樹植栽の実施状況	・地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助	20ha 17,119千円 (6,019千円)	8.1ha ※ 条件不利地における伐採が少なかったため、計画よりも実績が下がった。 6,328千円 (815千円)
海岸防災林機能強化事業  海岸防災林での植栽	・海岸防災林の機能強化を図るため、広葉樹の植栽や松くい虫予防の薬剤散布等を実施	植栽 18.1ha 薬剤散布 420ha 157,000千円	植栽 14.3ha 薬剤散布 426ha 156,074千円
身近なみどり整備推進事業  見通しがよくなった平地林	・地域にとって良好な生活環境や、やすらぎの場をつくるため平地林・里山林の整備に対し補助	90ha 136,100千円	94.7ha *炭素吸収量 66炭素ト/年 127,241千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		98,637千円	47,149千円
森林・林業体験学習促進事業  間伐体験の様子	森林づくりに関わる様々な体験メニューを提示し、森林・林業の体験学習を実施	12,500人 40,490千円	2,660人 ※ 新型コロナの影響により開催回数が減ったため、計画よりも実績が下がった。 21,219千円
いばらきの森普及啓発事業  PR会  森林ボランティア活動	- 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施 - 地域の森林づくりなどの活動を促進するため、NPO団体などに対し補助	県広報紙「ひばり」に特集記事掲載 PR会の開催 20団体 14,153千円	県広報紙「ひばり」に特集記事掲載（令和2年7月） PR会の開催 20団体 10,670千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施	ロープ柵設置 174m 林床ササ刈り 1,035㎡ 4,994千円	ロープ柵設置 174.2m 林床ササ刈り 1,035㎡ 2,788千円
第46回全国育樹祭開催準備事業	第46回全国育樹祭(令和5年度開催予定)に向け、環境整備を実施	環境整備などの開催準備 39,000千円	環境整備などの開催準備 12,472千円

【令和2年度の事業実施による効果】

- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積
令和元年度末：7,737ha → 令和2年度末：10,297ha [2,560ha増]
- 2 森林整備（再造林115ha、間伐 803ha、広葉樹植栽8ha、平地林等の整備95ha）による効果
 - （1）森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約16億1千万円に相当
 - ① 水源涵養 約6億4千万円 ② 土砂流出等防止 約4億4千万円 ③ 二酸化炭素吸収 約5億3千万円
 - （2）森林整備に係る費用対効果は、約3.9倍（効果：16億1千万円／費用：4億1千万円）

3 湖沼・河川の水質保全
令和2年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		876,121千円	730,881千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	- 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乗せ補助 - 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用を補助	設置補助 896基 558,758千円	設置補助 882基 462,237千円 *年間負荷削減量 COD: 約20.6ト 全窒素: 約3.5ト 全りん: 約0.33ト
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事	下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 2,193件 (高額補助: 454件) (低額補助: 1,739件) 184,590千円 農業集落排水施設 265件 41,260千円	下水道 1,001件 (高額補助: 645件) (低額補助: 356件) 181,195千円 農業集落排水施設 154件 33,159千円
農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設	農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助		*年間負荷削減量 COD: 約19.8ト 全窒素: 約7.9ト 全りん: 約0.86ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 1,100件 80,907千円	立入検査 975件 43,718千円 *年間負荷削減量 COD: 約10.3ト 全窒素: 約8.8ト 全りん: 約1.34ト
排水処理施設りん除去支援事業  排水処理施設	農業集落排水施設の排水から更にりんを除去するため、薬剤の追加添加等にかかる費用を市町村に補助	対象施設 36施設 10,606千円	実施施設 36施設 10,572千円 *年間負荷削減量 全りん: 約0.23ト

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		85,583千円 (15,950千円)	66,917千円 (15,950千円)
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培推進事業 	・霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及	適正施肥技術の開発・普及 22,983千円	適正施肥技術の開発・普及 18,511千円
良質堆肥広域流通促進事業 	・畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組に対して補助、堆肥の新たな活用及び販売ルートの開拓支援	堆肥利用実証ほの設置 60ha 14,856千円	堆肥利用実証ほの設置 34.1ha 9,869千円 ※年間負荷削減量 全窒素：約7.0トン ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
家畜排せつ物農外利用等促進事業 	・家畜排せつ物からの負荷削減のための機械導入等への補助	整備箇所数 3か所 33,744千円 (15,950千円)	整備箇所数 3か所 24,546千円 (15,950千円)
水田水質保全対策モデル事業 	・流域水田における土地改良施設を活用した水管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組に対する支援	取組地区数 3地区 14,000千円	取組地区数 3地区 13,991千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		74,996千円	50,103千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施	参加者数 9,600人 回数 — 56,608千円	参加者数 3,379人 回数 189回 35,000千円 ※新型コロナの影響により開催回数が減ったため、計画よりも実績が下がった。
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	- 市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 - 霞ヶ浦自然観察会等の環境学習、霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施	補助団体数 30団体 参加人数 延べ7,200人 16,388千円	補助団体数 12団体 参加人数 延べ2,358人 13,638千円 ※補助制度の変更により、計画よりも実績が下がった。 ※新型コロナの影響により開催回数が減ったため、計画よりも実績が下がった。
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	漁業者等による植生(ヨシ)帯の保全活動に対して補助	支援団体数 7活動組織 2,000千円	支援団体数 6活動組織 1,465千円
④ 水辺環境の保全		145,574千円	123,315千円
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収）	未利用魚回収量 370トン 16,795千円	未利用魚回収量 366トン 16,730千円 ※年間負荷削減量 全窒素：約9.0トン 全りん：約2.50トン
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置、アオコ回収等 16,644千円	アオコ抑制装置の設置 12,494千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
千波湖アオコ対策事業  アオコ集積防止装置の設置	・アオコ集積防止装置の設置等による景観保全及び悪臭被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置 11,500千円	※水戸市の意向によりR2は事業中止
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  直接浄化施設(土浦市虫掛)の運転管理	・新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の運転管理等	施設運転管理 42,545千円	施設運転管理 41,763千円
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 58,090千円	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 52,328千円

【令和2年度の事業実施による成果】

年間負荷削減量増加分合計

COD：約50.7トン

全窒素：約36.2トン

全りん：約5.26トン

→平均的な家庭が1年間に排出する汚濁負荷量（COD）約7,200世帯分に相当

令和3年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

1 令和3年度税収額・支出額

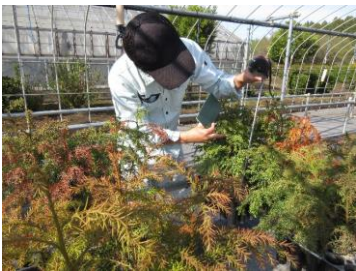
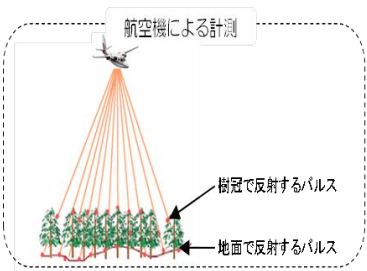
() は前年度繰越額を内書き

	当初計画	決算見込み
(1) 税収額	1, 7 4 1, 5 8 1 千円	1, 7 8 1, 1 0 2 千円
(2) 支出額 (税充当額)	2, 4 3 3, 1 2 9 千円 (2 2 8, 1 3 5 千円)	1, 9 5 4, 9 0 3 千円 (2 2 0, 8 5 3 千円)
森林の保全・整備	1, 1 9 3, 9 6 3 千円 (2 2 8, 1 3 5 千円)	9 2 2, 2 1 1 千円 (2 2 0, 8 5 3 千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 2 3 9, 1 6 6 千円	1, 0 3 2, 6 9 2 千円

2 森林の保全・整備 令和3年度の実績

() は前年度繰越分を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と木材利用の推進		7 9 2, 9 3 1 千円 (203, 683千円)	5 5 8, 2 4 8 千円 (199, 005千円)
いばらきの森再生事業  人工林伐採後の再造林  間伐後の人工林	・持続的な森林管理を推進するため、経営規模の拡大に取り組む林業経営体を実施する再造林や間伐等の森林整備に対し補助	再造林 1 2 0 ha 間伐 8 8 7 ha 〔 再造林・間伐の計 〕 2 9 7 ha 481, 433千円 (118, 955千円)	再造林 1 1 4. 5 ha *炭素吸収量 229炭素トン/年 間伐 6 7 5. 2 ha *炭素吸収量 1, 215炭素トン/年 〔 再造林・間伐の計 〕 3 2 4. 9 ha 352, 043千円 (121, 064千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
種苗生産体制整備事業  コンテナ苗生産に係る技術改良	・再造林の推進に伴い供給増が求められている林業用苗木の安定供給を図るため、コンテナ苗の生産技術を改良	コンテナ苗の生産に係る技術改良 1,920千円	コンテナ苗の生産に係る技術改良 1,516千円
森林施業効率化促進事業  高性能林業機械による作業	・森林整備作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助	延べ 110か月分 8,775千円	延べ 95か月分 8,229千円
高精度森林情報基盤整備事業 	・航空レーザー測量により森林資源情報等を整備	5市 24,000ha 95,000千円	5市 23,750ha 94,412千円
いばらき木づかいチャレンジ事業  建築物の木造化・木質化	・建築物の木造化・木質化や県産木材を活用した先導的な木造住宅の建築に対し補助 ・保育園等への木製品導入に対し補助	木造化・木質化 9施設 (4施設) 木造住宅 10戸 木製品導入 3施設 205,803千円 (84,728千円)	木造化・木質化 5施設 (4施設) 木造住宅 10戸 木製品導入 3施設 102,048千円 (77,941千円)

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 県土・生活環境の保全		315,552千円 (3,852千円)	290,211千円 (1,512千円)
条件不利地森林整備事業  条件不利地への広葉樹植栽	・地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助	13ha (3ha) 12,552千円 (3,852千円)	3.9ha (2.5ha) *炭素吸収量 7炭素ト/年 4,215千円 (1,512千円)
海岸防災林機能強化事業  広葉樹の植栽	・海岸防災林の機能強化を図るため、松くい虫予防の薬剤散布や広葉樹の植栽等を実施	植栽 18ha 薬剤散布 426ha 157,000千円	植栽 20.0ha 薬剤散布 425ha 156,131千円
身近なみどり整備推進事業  整備し見通しがよかった平地林	・地域にとって良好な生活環境をつくるため、平地林・里山林の整備に対し補助	115ha 146,000千円	96.8ha *炭素吸収量 68炭素ト/年 129,865千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		85,480千円 (20,600千円)	73,752千円 (20,336千円)
森林・林業体験学習促進事業  小学生の間伐体験	・森林環境教育を推進するため、様々な体験メニューを提示し、森林・林業に係る体験学習を実施	12,500人 40,363千円	4,775人 32,212千円 ※ 新型コロナの状況を踏まえ、規模を縮小して実施。
いばらきの森普及啓発事業  いばキラTVでのPR動画の公開  森林ボランティアによる森づくり活動	・森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施 ・地域の森林づくり活動を促進するため、ボランティア団体などに対し補助	県広報紙への特集記事掲載などの広報 20団体 14,153千円	・県広報紙「ひばり」への特集記事掲載 ・PRイベント開催 ・PR動画作成・配信 ・主要紙への広告掲載 21団体 12,083千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	・筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施	ロープ柵設置 174m 林床ササ刈り 1,035㎡ 4,689千円	ロープ柵設置 178.5m 林床ササ刈り 735㎡ 4,259千円
第46回全国育樹祭開催準備事業  式典の様子 （第44回全国育樹祭 北海道）	・第46回全国育樹祭(令和5年度開催予定)に向け、所要の準備を実施	基本計画の作成 〔環境整備工事 1件〕 26,275千円 (20,600千円)	基本計画の作成 〔環境整備工事 1件〕 25,198千円 (20,336千円)

【令和3年度の事業実施による効果】

- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積
令和2年度末：10,297ha → 令和3年度末：13,498ha [3,201ha増]
- 2 森林整備（再造林、間伐、平地林整備等）による効果
 - （1）森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約14億2千万円に相当
 - ① 水源涵養 約5億7千万円 ② 土砂流出等防止 約3億8千万円 ③二酸化炭素吸収 約4億6千万円
 - （2）森林整備に係る費用対効果は、約2.9倍（効果：14億2千万円／費用：4億9千万円）

3 湖沼・河川の水質保全 令和3年度の実績

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		952,933千円	837,205千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	- 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乗せ補助 - 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用を補助	設置補助 896基 584,519千円	設置補助 934基 562,408千円 *年間負荷削減量 COD：約21.9トン 全窒素：約4.3トン 全りん：約0.37トン
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事	下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助	下水道 2,193件 (高額補助：712件) (低額補助：1,481件) 264,570千円 農業集落排水施設 265件 (高額補助：116件) (低額補助：149件) 41,260千円	下水道 1,080件 (高額補助：739件) (低額補助：341件) 187,914千円 農業集落排水施設 179件 (高額補助：120件) (低額補助：59件) 38,888千円 *年間負荷削減量 COD：約21.6トン 全窒素：約8.7トン 全りん：約0.93トン ※高額補助は実績が計画を上回ったが、低額補助は補助申請が当初の計画よりも少なかった。
農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設接続工事	農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助		
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施	立入検査 1,100件 62,584千円	立入検査 1,257件 47,995千円 *年間負荷削減量 COD：約15.6トン 全窒素：約13.3トン 全りん：約2.03トン

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		69,314千円	39,492千円
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培推進事業  レンコン田	・霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及	適正施肥技術の開発・普及 22,995千円	適正施肥技術の開発・普及 19,047千円
良質堆肥広域流通促進事業  良質堆肥の散布	・畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組に対して補助、堆肥の新たな活用及び販売ルートの開拓支援	堆肥利用実証ほの設置 60ha 14,856千円	堆肥利用実証ほの設置 32.0ha 4,473千円 ※年間負荷削減量 全窒素：約13.1トン ※新型コロナウイルスの影響による機械納入の遅れ。
家畜排せつ物農外利用等促進事業  堆肥舎	・家畜排せつ物からの負荷削減のための堆肥舎や機械導入等への補助	整備箇所数 2か所 26,463千円	整備箇所数 2か所 10,972千円
水田水質保全対策モデル事業  水管理の高度化による農業用水の節水（自動給水栓の設置）	・流域水田における土地改良施設を活用した水管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組みに対する支援	取組地区数 2地区 5,000千円	取組地区数 2地区 5,000千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		74,962千円	61,273千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施	参加者数 9,600人 56,574千円	参加者数 4,458人 44,922千円 ※新型コロナの状況を踏まえ期間を限定して実施。
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	- 市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 - 霞ヶ浦自然観察会等の環境学習、霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施	補助団体数 30団体 16,388千円	補助団体数 11団体 15,006千円
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	漁業者等による植生(ヨシ)帯の保全活動に対して補助	支援団体数 5活動組織 2,000千円	支援団体数 5活動組織 1,345千円
④ 水辺環境の保全		141,957千円	94,722千円
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収）	未利用魚回収量 370トン 16,795千円	未利用魚回収量 372トン 16,709千円 *年間負荷削減量 全窒素：約9.1トン 全りん：約2.57トン
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置、アオコ回収等 16,084千円	アオコ抑制装置の設置 9,872千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  直接浄化施設(土浦市虫掛)の撤去等	・新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の撤去等	撤去等 51,006千円	撤去等 22,138千円
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 58,072千円	水質改善に向けた試験研究（アオコの動態解明に関する調査・研究等） 46,003千円

【令和3年度の事業実施による成果】

年間負荷削減量増加分合計

COD：約59.1トン

全窒素：約48.5トン

全りん：約5.90トン

（計画：約76.9ト、達成率76.9%）

（計画：約64.8ト、達成率74.8%）

（計画：約6.59ト、達成率89.5%）

→平均的な家庭が1年間に排出する汚濁負荷量（COD）約8,400世帯分に相当